

令和2年度7月補正予算（案）の概要

I 予算の規模

	現計予算額	今回補正額	補正後の額	前年同期比※
一般会計	26,425,248千円	801,848千円	27,227,096千円	35.4%
特別会計	8,358,069千円	0千円	8,358,069千円	△ 0.4%
企業会計	9,311,120千円	0千円	9,311,120千円	0.7%
合計	44,094,437千円	801,848千円	44,896,285千円	18.9%

※前年同期比は、令和元年度6月補正後予算額との比較

II 歳出予算の主な事業

【新型コロナウイルス感染症対策関係経費】

（単位：千円）

・新型コロナウイルス感染症対策費 10,000（総務）

[追加]新型コロナウイルス感染症対応の備品、消耗品の購入等
（体表面温度測定カメラ、衛生用品など）

【新】・光ファイバー整備事業費補助 664,000（企画）

新型コロナウイルス感染症対応のため、在宅学習や在宅勤務など
新たな日常に必要な情報通信基盤（光ファイバー）を整備する民間事業者に対する補助

・子ども・子育て支援事業費 7,547（福祉）

[新]新型コロナウイルスの感染防止のため、地域の子ども・子育て支援事業実施施設に空気清浄機や消毒液の配布等

【新】・放課後児童クラブ利用料軽減事業費 1,417（福祉）

市の自粛要請に応じて休所した児童に係る利用料について、放課後児童クラブの事業者が利用者に返還した金額を助成

【新】・ひとり親世帯臨時特別給付金事業費 23,000（福祉）

ひとり親世帯（児童扶養手当受給世帯等）に対し、臨時特別給付金を給付

基本給付 1世帯につき5万円

※第2子以降、1人につき3万円を基本給付に加算

追加給付 1世帯につき5万円

※新型コロナウイルス感染症の影響で減収した世帯へ追給

(単位：千円)

【新】・海女漁保存・継承緊急支援事業費	9,000 (農林水産)
新型コロナウイルス感染症の影響を受けて休漁せざるを得ない、 国指定重要無形民俗文化財「輪島の海女漁の技術」の保存・継承 を支援 交付先：輪島の海女漁保存振興会 助成額：5万円/人	
・教育支援員等配置事業費	4,382 (教育総務)
[追加]新型コロナウイルス感染症対策の実施により、増加する 教員の業務をサポートするため、スクールサポートスタッフを 追加配置	
【新】・学校再開感染症対策・学習保障等事業費	12,500 (教育総務)
市内小中学校における新型コロナウイルス感染症対応の備品、消 耗品等の購入や、児童・生徒の学習を保障するための家庭学習用 教材の購入費等	
・ICT推進事業費	56,700 (教育総務)
[新]市内小中学校の児童・生徒1人につき、パソコン1台の環境 を整備 (全1,260台)	
【新】・学校給食施設等環境改善事業費	12,902 (教育総務)
新型コロナウイルス感染症の影響を受けて休校した期間の授業時 間を、夏休みの短縮により補うことから、短縮期間中の学校給食 の実施にあたり、調理場及び配送中の衛生管理を徹底するため、 空調設備や保冷食缶を整備	